



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 36

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 36. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1955, 36: 19-22

ISSUE DATE:

1955-09-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186839>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興會

水族館月報

No. 36

1955. 8月(9月4日)

録 事

明光バス株式会社及び白浜観光協会より納涼バス実施の計画にともない、水族館の夜間閉館を要望あり、大学当局と交渉の結果、連帯遊覧券所持のバス乗客に限り入館を許可することにきまり、8月10日より実施された。2日間の成績をみるに、大人172名、小人7名で、1日平均25名という閑散ぶりであった。

過日の豪雨の際、海岸の鋪装道路上に溢れた雨水が、近隣の店舗に流れ込むとの苦情がでたので、2箇所の溜樹を倍に拡大し、海側への排水管を延長し真直ぐに改めた。

水族館前の淡水池は、かねてより黄褐色の汚水が溜ったまいて、観光客にも不快の感をあたえるので、熱帯水草をいれる池に改修するの計画の下に、汚水を排出し、中央の島を除きました。数年前より一段も浅深しなかつたので、砂泥が底に1尺以上の高さまで溜っていたのに驚いた。

奨学金受領者原田英司学士は、18日より実験所に滞在、21日には瀬戸の漁業組合にわたりをつけ、漁船又は実験所の船に数回搭乗し、種忠網を使用して、夜間海面に浮上するイセエビの幼仔採集に努力中である。

業 務 概 況

◎ 8月の入場者数

区 分	水族館発券数		明光バス発券数		合 計	
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計
大 人	6111	33357	11997	63510	18108	96867
小 人	1643	3455	1176	1972	2819	5427
団 体	4214	34662	—	—	4214	34662
合 計	11968	71474	13173	65482	25141	136956
入場者					104	1361

◎ 8月の事業収入

(黒 計)

観覧券売上金	454,957	2,535,199
魚類 拂下	50	3,570
諸 収入	160	760
7月よりの繰越し	364,247	
計	819,414	

◎ 8月の支出

水族館経費

費 目	金 額	黒 計	備 考
人件費	42,576	297,075	
金 計	—	100	
備品費	—	5,240	
消耗費	8,555	40,591	
事業費	48,628	185,815	
維持費	14,975	92,530	
其他諸費	2,090	74,352	
積立金	77,857	432,687	
合 計	201,681	1,128,390	

実験所経費

費 目	金 額	黒 計	備 考
飼 料 費	5,000	15,000	
奨 学金	5,000	10,000	
備品費	—	6,700	
消耗費	—	14,500	
刊 行 費	—	329,576	
雑 務 費	—	77,610	
合 計	10,000	453,386	

博物館経費

費 目	金 額	黒 計	備 考
人件費	3,700	23,860	
消費費	—	9,393	
備品費	120	6,720	
合 計	3,820	39,973	

臨時部

項 目	金 額	黒 計	備 考
合 計	—	396,300	

支出合計

(黒 計)

水族館経費	201,681	1,128,390
実験所経費	10,000	453,386
博物館経費	3,820	39,973
臨時部	—	396,300
計	215,501	2,018,049

8月末現在高 603,913

支出黒計 2,018,049

◎前年度との比較

	1954	1955	増 減
入場者数	21659	25141	+ 3482
売上金	389.069	454.957	+ 65.888
支出金	315.660	215.501	- 100.159

水族館記事

- ◎4日 アカエイ の仔が2匹生れ、先月生れのものと一緒に現在10匹が健在である。
- ◎7日 サカタザメ の仔が5匹生れたが、情しくも全部死亡した。
- ◎12日 フマミ 1匹、フエヤソコダイ 1匹、カゴカキダイ 1匹 チョウチンウオ が8～23日に相次いで入り、現在2匹生きている。今年は漸く盛夏を過ぎて熱帯魚が入槽したが、今月に入って死亡した イトヒキアジ と共に、水槽の中は例年になく淋しく思われた。
- ◎21日 アカウミガメ の赤ん坊32匹を稚賀爾之助氏より入手、大事に育てている。
- ◎中央流し上の円形バットの敷台5枚に、京大技術課より試験を依頼されたシリコン防虫塗料を3回塗布し、8月3日より対照の5枚と並べて設置、フナノムシ に対する防虫効果を試験中である。

博物館記事

大学院学生の研究指導のため滞在中の波部忠重氏の御好意により、博物館及び水族館陳列室に展示中の貝類標本の学名の誤りが訂正された。(28/Ⅷ～28/Ⅷ)。

資 料

◎8月の気象

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数(25)	10	10	5
気 温 (℃)	27.0—28.9 27.9	25.3—28.7 27.3	24.7—28.5 26.8
水 温 (℃)	27.3—28.5 27.9	27.6—28.3 27.9	26.7—28.5 27.5
比 重	19.2—22.0 21.0	21.3—22.0 21.6	20.1—22.1 21.6

但し { 気温は南水槽室
水温 } は No. 25 水槽 で 10 時に測定
比重

来 訪 録

8月12～16日 学習研究社 藤平波三郎氏他1名来館。教材用の
各種動物をカラーフィルムに収める。
8月13日 大阪府知事 赤間文三氏来館。

昭和30年9月4日 発行 (No. 36)

編集兼
発行人

内 海 富 士 夫

発行所

瀬戸臨海実験所振興會

和歌山縣・白浜町

瀬戸臨海実験所内

(電話 白浜温泉 515)